

連載 105

仕事について考える

札幌大谷大学社会学部  
教授 平岡祥孝

新たな年を迎えて、それぞれ個人が目標を持ったり、決意を表明されたりしたことでしょう。たとえその全てを実現できなくとも、年末には「ここまで出来たかな」「来年こそは達成しよう」など、ある程度の進展を手ごたえとして、あるいは実感として持つことが出来るならば、それは努力の結果ではないでしょうか。着実に一歩ずつでしょうね。

言うまでもなく年末・年始は、忘年会・クリスマスパーティー・新年会など、宴会や会食の機会が多くなります。明るく陽気に盛り上げられ、それはそれで楽しい時間です。けれども、不承不承で出席せざるを得ない酒宴もあるでしょう。また、最初から欠席を決める場合もあるでしょう。もちろん先約がある場合もあるでしょう。

ですが、あくまでも私の独断と偏見ですが、その理由は、会のお店やコースメニューの好き嫌いもさることながら、出席者の顔ぶれではないでしょうか。飲みニケーションを仕事の延長と捉えるか、勤務時間外の機会と捉えるか、それは個人差だ

と思います。昔ながらの感覚で一括りにして決め付けるのではなく、多様性を認めなければならぬ時代です。ワーク・ライフ・バランスが叫ばれる昨今、時代の潮流は「個」の時代ですから。

昨年の暮れに、学生の就職を通してご厚誼いただいている某本州系大手企業札幌支店の管理職と会食いたしました。その日は支店の忘年会だったのですが、氏はそれを欠席して私の誘いを受けてくださいました。そのとき、「日を改めても私はかまわなかったのですが、忘年会欠席されてもよろしいのですか」と、私はたずねました。「もともと出るつもりはありませんので。今の支店長とは酒席は同席しないと決めています」と、氏は答えました。私は多少驚きました。氏は律義な組織人です。なのに、なぜ欠席を決めたのだろうか。

そこで、「差し支えなければ、その理由をお教えください」と、私は訊きました。「先生に隠すつもりは毛頭ありません。一言で言うならば、支店長は品格が無いからです。それは酒の席で、決まって欠席裁判することに端的に表れています」さらに続けて氏は、「彼は、『あいつは使えない』とか『〇〇はもう終わつたな』などと、言葉汚く罵ります。聞くに堪えません。そして年長の部下を全て無能扱いです。唯我独尊も

はなはだしい限りです。「年寄りも早く辞める」と陰口三昧ですよ。私もその1人ですから。ですから、ひたすら彼の異動を待つのみです」とのこと。部下を大切にしない上司は、人間失格。

2人の間に信頼関係があるならば、フェイス・トゥ・フェイスで何を話しても許されると思います。その場で話したことは他言無用。口にはチャックとガムテープ。しかし、酒席において多数の中心を占めている者が、「欠席裁判」で罵詈雑言を浴びせて悦に入ることは、逆に信用を失います。阿諛追従の輩もいるでしょうが、普通の人ならば不快感を持つこと間違いなし。部下であっても年長者には、長幼の序をわきまえないければなりません。

教員として一介の職業人。その職業人生の黄昏を迎えて思い返すならば、この支店長のような人とも少なからず接してきました。私のほろ苦い経験に照らすならば、彼が発した悪態の何倍もの彼に対する非難・批判が、水面下で飛び交っています。知らぬは本人だけ。



【ひらおか よしゆき】札幌大谷大学社会学部教授。英国の酪農経営ならびに牛乳・乳製品の流通や消費を研究分野としている。高校生・大学生の就職支援やインターンシップ事業に携わってきた経験から、男女共同参画、ワーク・ライフ・バランス、仕事論、生涯教育などのテーマを中心に、講演やメディアでも活躍。

浦幌町ファミリーサポート事業  
(通称・ファミサポ) 会員の募集

地域ぐるみで相互に子育てを支援することで、安心して子育てができる環境整備を目指しファミリーサポート事業を実施しています。

★会員について

依頼会員(子どもを預かって欲しい方)と協力会員(子どもを預かる方)のいずれか、または両方に登録していただいで、相互に子育てを支援し合うものです。

★利用できる対象年齢…生後6ヶ月～小学4年生まで

★援助内容…保育園・幼稚園・小学校・学童保育所の送迎、保護者の仕事や残業中の預かり、保護者の通院など

★利用時間…7時～20時までの間で7時間の範囲

★依頼会員の利用料金…子ども1人の援助につき、30分300円。

また、子どもの送迎などにかかる交通費やおやつ代などは実費を協力会員に支払います(事前に双方で確認してください)

★預かる場所…自宅など

●協力・依頼会員はセンターが実施する講習会(子育てや安全管理など)を受講していただきます。

※申込みやお問合せは左記までお願いします。

月～金曜日 9時～17時

子育て支援センター(☎579-7707)